未来への挑戦!!

倉商で100年先も生き抜く実力、志と得意技を身に付ける。

1.伝統を守ることは、新しい風を吹き込むこと

本校は、大正5年(1916年)に小倉市立小倉商業学校として創立し、平成28年(2016年)に創立100周年を迎えた歴史と伝統のある単独商業高校です。卒業生は21,000余名を数え、県内外をはじめ、海外でも活躍をしています。今日まで、建学精神「フロンティア・スピリット」、モットー「清く　明るく　健やかに」のもと、ビジネスに対応できる専門的な知識・技能および望ましい勤労観・職業観の育成を通して、地元に貢献できる数多くの人材を輩出しています。

2.倉商ブランドとは

世の中はオーケストラ。ひとりひとりが違った職業に従事して社会を形成しています。将来どういう仕事をしたいのか、どういう人生を歩んでいきたいのかということを主体的に考え、本物体験を通して「商道徳に根ざした志と得意技」を磨いて、倉商生として学んだことに「自信と誇り」を持ち、世のため人のために貢献できる人材育成をする学校力のことです。

3.倉商の目指す教育とは

(1) 生徒ひとりひとりを大切にして、生徒・保護者や地域の皆様方と信頼を築く教育を実践します。
(2) 「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをゆかいに、ゆかいなことをまじめに」指導します。
(3) 持続可能社会に向けて、時代がどんなに変わろうとも世の中で主体的に生き抜いていく力、「ビジネス瞬発力」(経済活動のここぞという場面で発揮できる力)を身に付けさせます。

福岡県立小倉商業高等学校　校長　　堀　　修

学校教育目標

100 年の歴史と伝統を誇るビジネス（商業）教育に関する専門学校として、自ら学び、何事にもチャレンジするフロンティア・スピリットを持ち、望ましい勤労観・職業観とともにビジネスに対応できる専門的な知識・技能および、グローバル社会に貢献する人材を育成する。

目指す生徒像

- ●高い志を抱き、自ら学び続ける力を備えた将来のスペシャリスト
- ●商業教育を基盤として、課題解決型の学びを深化させ、自律的で共働的な学びを取り入れることを通してビジネス分野で活躍できる生徒
- ●思いやり、公共心、倫理観、基本的なマナー、身の回りのことを自分でしっかりとできる生徒

目指す学校像

- ●地域の期待と信頼に応え続ける学校
- ●生徒を「ほめて、鍛えて、伸ばす」学校
- ●安心・安全な学校

目指す教師像

- ●深い専門性と高い指導力を備え、情熱と愛情をもって生徒に対応できる教師

目指す授業

- ●学ぶことの意義と目的を明確にしたわかる授業
- ●実学を重視し、体験的活動により達成感のある授業
- ●主体的、対話的で深い学びを通して思考力、判断力、表現力を高める授業

KOKURA COMMERCIAL HIGH SCHOOL

商業高校と他の学校の違い

商業高校では

普通高校では勉強しない商業科目を全体の 1/3 程度勉強します。その結果、

①商業に関する専門知識・技術が習得できます。
②社会に出てから必要となるマナーやビジネスの知識を身に付けることができます。
③ビジネスに関するさまざまな検定試験に合格することができます。

商業科目とは

①商業の基礎となる科目 **「ビジネス基礎」**
②マーケティング分野に属する科目 **「マーケティング」・「商品開発」・「広告と販売促進」**
③ビジネス経済分野に属する科目 **「ビジネス経済」・「ビジネス経済応用」・「経済活動と法」**
④会計分野に属する科目 **「簿記」・「財務会計Ⅰ」・「財務会計Ⅱ」・「原価計算」・「管理会計」**
⑤ビジネス情報分野に属する科目 **「情報処理」・「ビジネス情報」・「電子商取引」・「プログラミング」・「ビジネス情報管理」**
⑥学習のまとめとしての総合的な科目 **「総合実践」・「課題研究」・「ビジネス実務」**